

(一社)交通工学研究会 災害基幹研究 第1回シンポジウム

大規模災害に対応する地域交通システムデザイン

東日本大震災をはじめとして、我が国では大規模災害が頻発しています。被災した地域の復旧や復興のために、あるいは今後発生する可能性のある災害から人命、都市、国土を守るために、考えられる様々な対策を実施する必要があります。なかでも交通システムは、被災直後から復旧・復興までの長い期間に渡る物資や人材の輸送マネジメント、災害に強い都市・地域の実現に向けた骨格形成に重要な役割を有しています。

(一社)交通工学研究会では、研究会の中心的研究課題の一つとして大規模災害対応を据え、平成24年度から基幹型研究「大規模災害に対応する地域交通システムデザインに関する研究(代表:元田良孝岩手県立大学教授)」(以下、災害基幹研究)を発足させ、防災、減災、初動、復旧、復興の各段階における地域交通システムのデザインとマネジメントの方法論を提言することを目指しています。初回となる今回のシンポジウムでは、京都大学防災研究所の畑山満則先生による、災害時の地域交通システムと平時からの備えておくべきことに関する基調講演のほか、災害基幹研究のメンバーによる研究報告を行います。

会員をはじめ、交通や防災の計画等に携わる実務者、研究者の方々を含め多数のご参加をお待ちしております。

◇開催日時 平成25年2月28日(木) 13:30~17:30(受付開始は13時00分より)

◇会場 東京都千代田区神田錦町3-21

ちよだプラットフォームスクエア504~506号室 <http://yamori.jp/>

東京メトロ東西線「竹橋」駅(3b出口)より徒歩2分

JR山手・京浜東北・中央線「神田」駅 西口出口・出世不動通りより徒歩12分

◇主催 (一般社団法人)交通工学研究会

◇後援 (公益社団法人)土木学会

◇募集人員 70名

◇参加費 無料

◇プログラム (プログラム及び講師は変更の場合もございますので予めご了承願います)

13:30- 開会

13:35-13:45 災害基幹研究について

元田良孝(岩手県立大学)

13:45-15:00 基調講演

畑山満則(京都大学防災研究所)

15:00-15:20 <Coffee Break>

15:20-17:20 震災基幹研究メンバーによる研究報告(順序未定)

報告者: 倉内文孝(岐阜大学)、桑原雅夫(東北大学)、高山純一(金沢大学)、小路泰広(国土交通省宇都宮国道事務所)、宇佐美誠史(岩手県立大学)、吉田 樹(福島大学)

17:30 閉会

◇申込方法 必要事項をご記入の上、EメールもしくはFAXでお申込みください。お申込順に受付し、定員を超過した場合に限り、ご連絡いたします。申込み締切は、2月25日(月)です。

E-mail r628@ipc.fukushima-u.ac.jp

FAX 024-504-2865

(いずれも、シンポジウム事務局 吉田(福島大学)宛)

参加申込書

団体(会社)名等:

勤務先所在地: 〒

連絡先電話番号:

E-mail:

参加者氏名	所属・職名	JSTE 会員種別
		正会員・特別会員 学生会員・一般
		正会員・特別会員 学生会員・一般
備考欄		

◇お問合せ先 一般社団法人 交通工学研究会 TEL: 03-6410-8717 または 050-5507-7153

シンポジウム事務局(担当: 吉田(福島大学)) r628@ipc.fukushima-u.ac.jp